

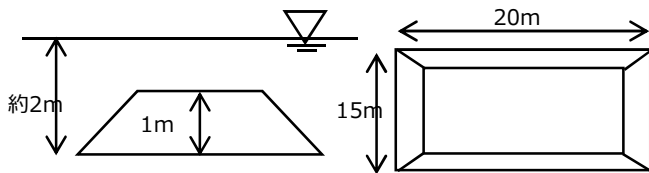
鉄鋼スラグ製品を用いた海域実証実験

鉄鋼生産に伴い副生される鉄鋼スラグは主にセメント用原料や道路用路盤材等に有効利用されています。近年、鉄鋼スラグを利用した人工石材で漁礁や藻場を造成すると海藻が繁茂し、生物が多く付着することで海域環境の改善に効果があることが確認されています。新日鐵住金グループでは平成26年5月より兵庫県淡路市福良で鉄鋼スラグを利用した人工石材を設置し、海域・漁場環境改善等を目的とした調査研究を行っています。

淡路市福良の実証実験

試験概要

- ①施工箇所：兵庫県淡路市福良
- ②施工時期：平成26年5月
- ③施工数量：600m³
(石材サイズ 10～300kg/個)
- ④調査項目：水質・生物
(3年間追跡調査)

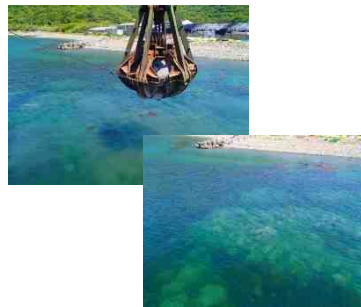


施工模式図

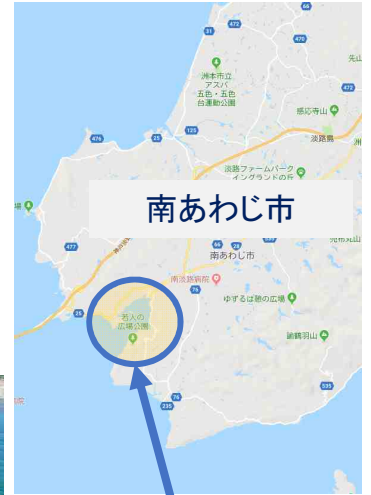
追跡調査結果



鉄鋼スラグを利用した人工石材



投入状況とその30分後



施工箇所：南あわじ市福良

	施工後1年	施工後2年	施工後3年
スラグ人工石1			
スラグ人工石2			
天然石			

- * 天然石の箇所と同等に藻類が繁茂している
- * 魚類の回遊が多く見られ天然石と同等の海域改善効果が見られる。
- * 本研究は兵庫県が設置した研究会(ひょうごエコタウン推進会議)において産官学の協力・連携の下に進めています。